

(スリム)  
「G30」から「ヨコハマ3R夢」へ

横浜市資源循環局  
資源政策課 河井 一広



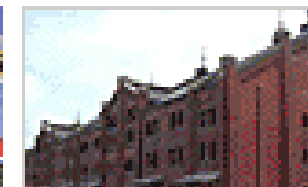
# 1. 横浜市の廃棄物処理

---

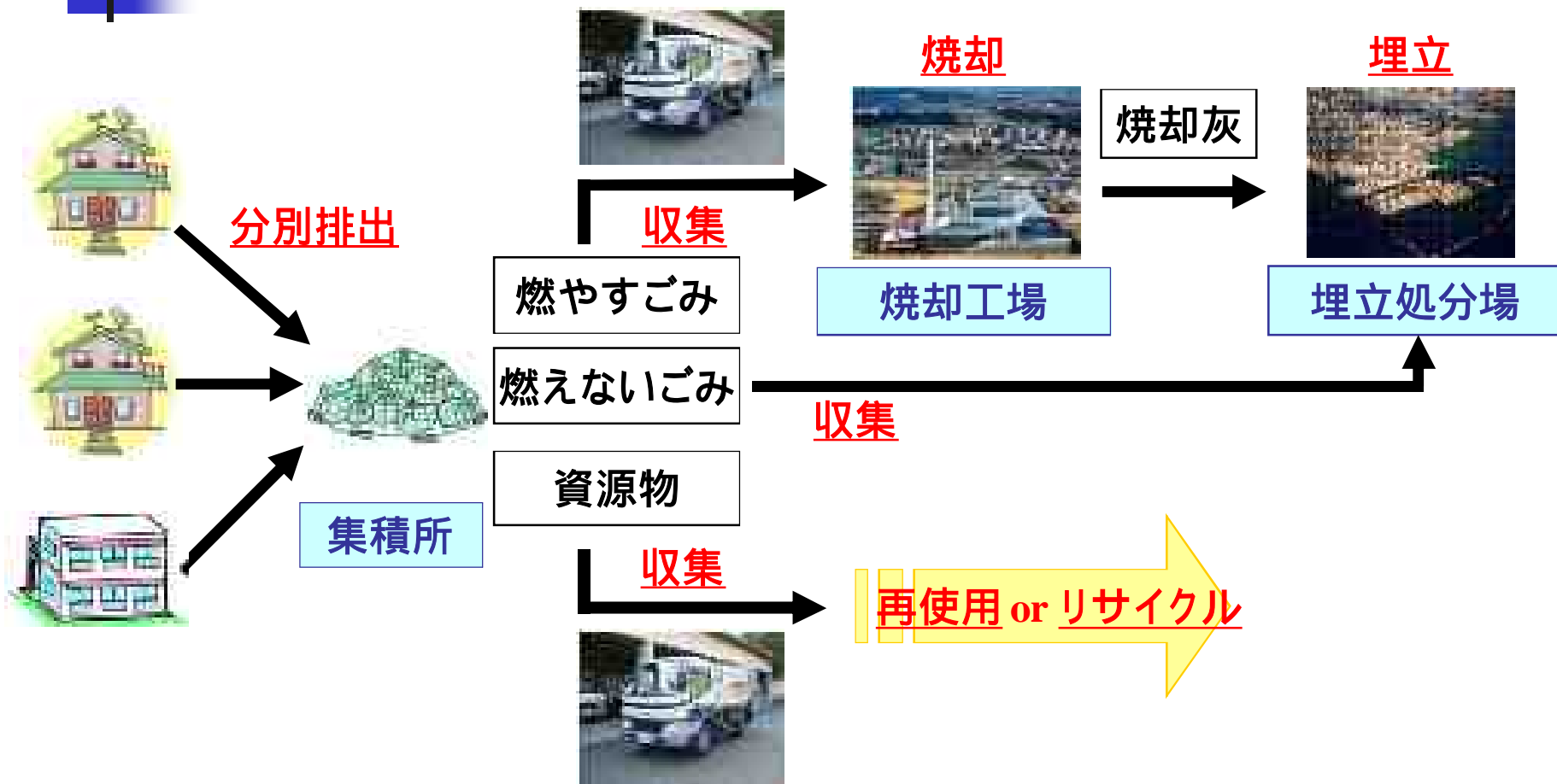


# 横浜市のプロフィール

人口	3,697,894人 (2012年6月1日現在)
世帯数	1,606,256世帯(2012年6月1日現在)
収集回数	家庭ごみ、乾電池、燃えないごみ、スプレー缶:週2回 缶・びん・PET、小物金属、プラ製容器包装:週1回 古紙・古布:月2回 粗大ごみ:申込み制
集積場数	約66,000か所

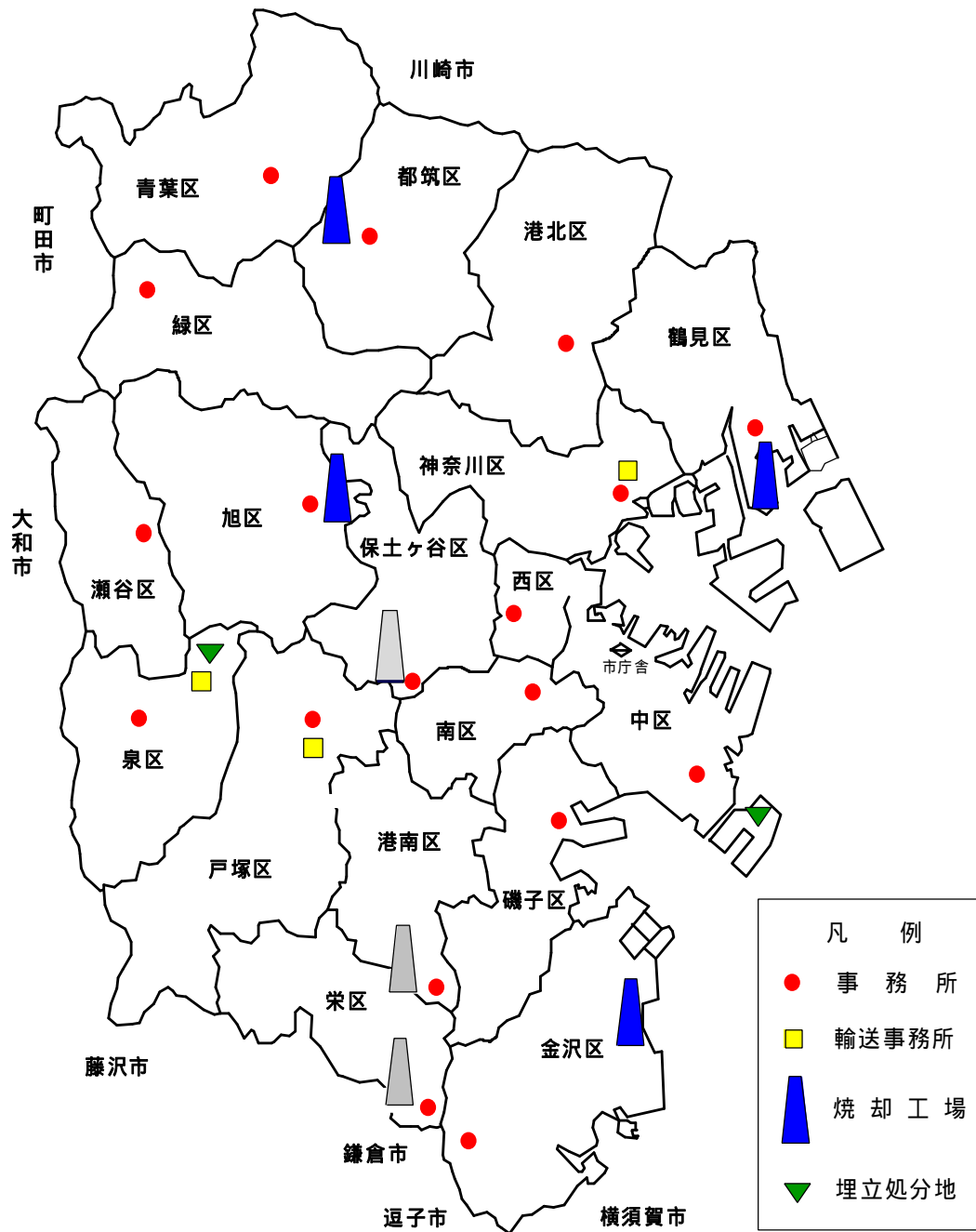


# 家庭のごみと資源の流れ



# 施設配置

- 収集事務所  
市内18か所  
(各区1か所)
- 輸送事務所  
市内3か所
- 焼却工場  
市内4か所  
(他2工場:廃止  
1工場:休止)
- 埋立処分場  
市内1か所  
(他1施設廃止)

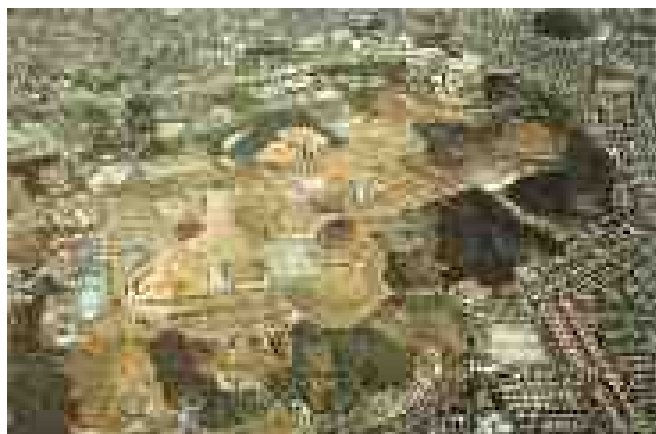


# 焼却工場・埋立処分場

## ◆ 焼却工場

	鶴見	旭	金沢	都筑
稼働年月	1995年4月	1999年4月	2001年4月	1984年4月
処理能力	1,200 t/日	540 t/日	1,200 t/日	1,200 t/日

## ◆ 埋立処分場



神明台処分地(2011年3月埋立終了)



南本牧廃棄物最終処分場

## 2. 横浜G30プラン

横浜市一般廃棄物処理基本計画  
【平成14年度(2002)-平成22年度(2010)】



「ヨコハマはG30」マスコット  
イーオ

# 横浜G30プラン策定の背景

増え続けるごみ

様々な環境問題

このまま対策を講じなければ、やがて現在の社会を継続して営むことが困難に...

将来の子供たちに豊かな環境を継承するため ...

2003年1月「横浜G30プラン」を策定

市民・事業者・行政が協働してごみの減量・リサイクルに取り組む



# 横浜G30プランの基本理念

市民・事業者・行政が協働し、廃棄物の3Rを推進することで、資源・エネルギーの消費を抑制し、環境負荷が低減される「循環型社会」の実現をめざす。

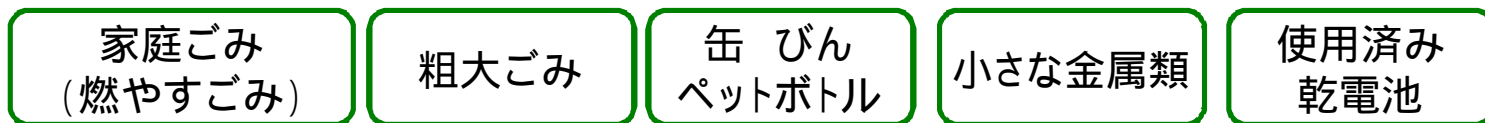
## 市民・事業者・行政の役割

市民	環境にやさしいライフスタイルへの転換 分別排出の徹底	など
事業者	ごみになりにくい製品の設計・製造 使用済み製品の回収・リサイクル	など
行政	3Rのしくみづくり 普及啓発、情報提供、情報交換	など

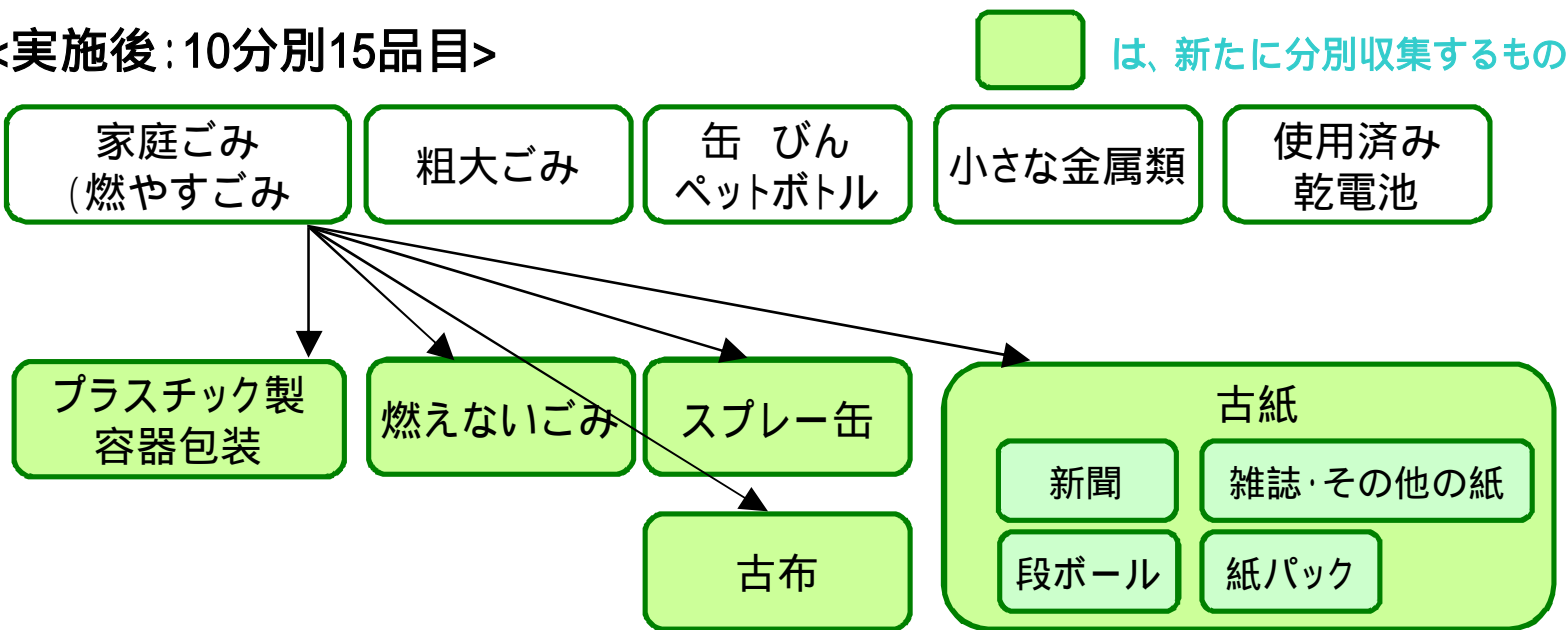
# 家庭ごみ減量の取組

## ～ 分別収集品目の拡大～

<従来:5分別7品目>



<実施後:10分別15品目>



# 住民への周知と説明等

- ◆ 分別説明会 : 約11,000回 (2004・2005年度)
- ◆ 駅頭啓発キャンペーン : 約600回 (2004・2005年度)
- ◆ 早朝啓発指導 : 約3,300回 (2004・2005年度)
- ◆ 分別されていないごみの取り残し : 約10,900回 (2009年度)



分別説明会



駅頭啓発キャンペーン



早朝啓発指導

# 地域住民が参加する啓発 収集事務所現場職員による啓発



収集事務所職員による住民説明会



地域住民とともに早朝啓発



# 環境学習の推進

- ◆ G30 出前講座：小中学校に訪問  
ごみ量の状況や処理のしくみに関する説明  
収集作業のデモンストレーション
- ◆ 焼却工場の施設見学：約3万8千人(2009年度)



工場見学の様子



G30 出前講座

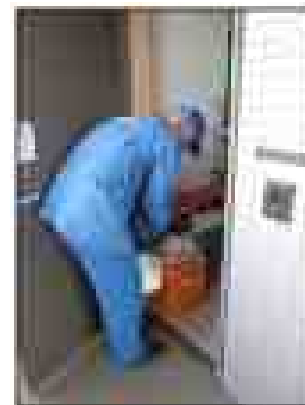


G30 出前講座

# 市民サービスアップ

## ◆ ふれあい収集

地域ボランティアとの協働による、高齢者・障害者の方々のごみ出しの支援



ふれあい収集

## ◆ 粗大ごみ持ち出し収集

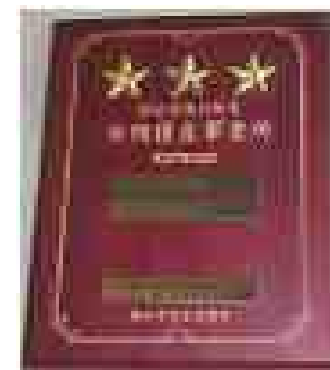
粗大ごみを収集場所まで持ち出すことが困難な方向けの粗大ごみ収集  
(高齢者や、障がいのある方、介護認定者などで、原則一人暮らしの方)



粗大ごみの持ち運び作業

# 事業系ごみ減量の取組

- ◆ 業界団体と連携し、説明会を開催
- ◆ 産廃木くず及び資源化可能な古紙の焼却工場搬入禁止
- ◆ 大規模事業所や中小事業所への立入調査
- ◆ 焼却工場における搬入物検査
- ◆ 分別・リサイクルの取組が優れた事業所を「分別優良事業所」として認定
- ◆ せん定枝をグリーンコンポストプラントで受け入れ、土壌改良材としてリサイクル



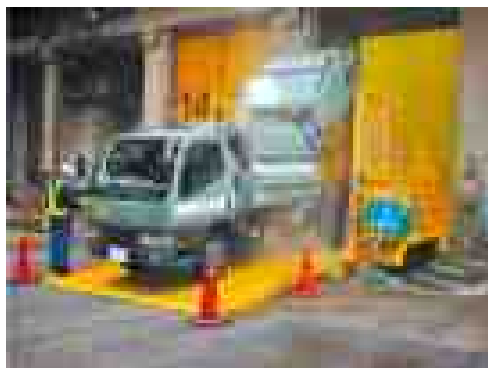
分別三ツ星事業所 認定盾

# 工場における搬入物検査

- ◆ 2003年12月から、焼却工場での搬入物検査を強化
- ◆ 自走式搬入物検査装置を全工場に導入
- ◆ 搬入不適物や古紙等資源化可能物が多量に混入している場合は、搬入事業者に対し、持ち帰りの指導を実施



搬入物検査の様子



搬入物検査装置

## 搬入物検査率

2009年度	85% (164,095台)
2010年度	89% (176,847台)



# 分別優良事業所(事例紹介)

(株)東芝 マイクロエレクトロニクスセンター 大船分室



所属別、品目別軽量

再利用するよう段ボール  
や緩衝剤を保管する  
スペースを設置

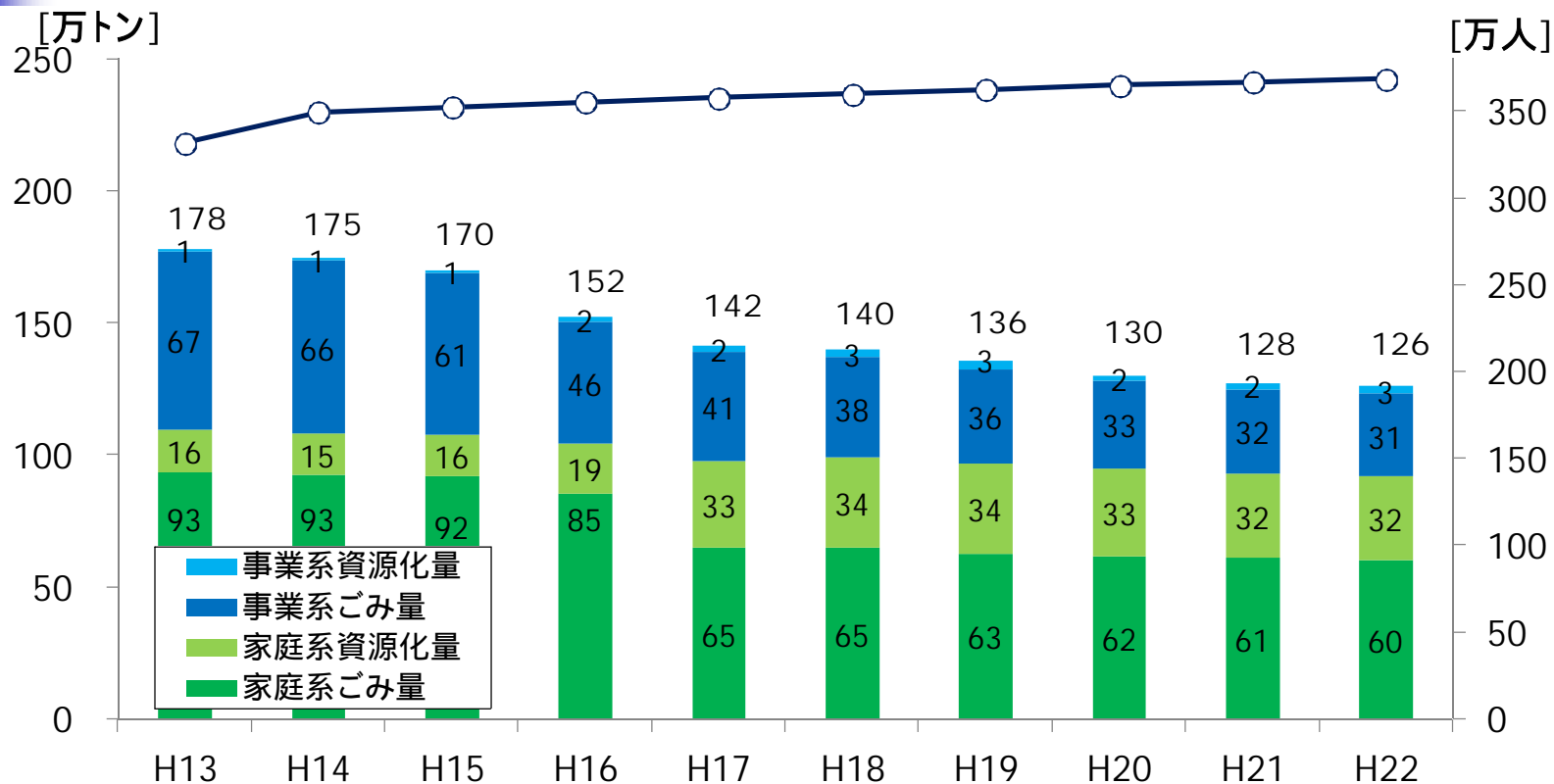


再使用する箸の導入

ライスの量を4種類から選  
択



# ごみ量と資源の推移

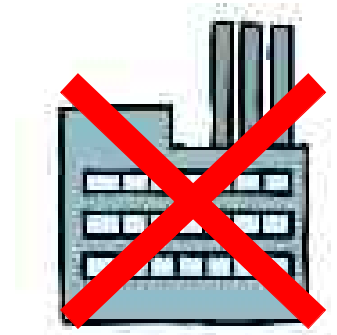


H13の事業系資源化量の一部が不明のためH14と同値とした

# 「G30の効果」

## 焼却工場の廃止・休止

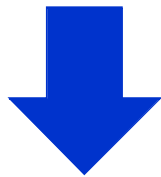
- ◆ごみ量が大幅に減少したことで、  
7つの焼却工場のうち、  
2工場を廃止、1工場を休止



栄工場 (1,500t/日)	: 2005年10月廃止
港南工場 (900t/日)	: 2006年11月廃止
保土ヶ谷工場 (1,200t/日)	: 2010年4月休止

# 「G30の効果」 最終処分場の延命

- ◆ごみ量が大幅に減少したことで、  
埋め立てる焼却灰の量も大幅に減少



2007年度に不足することが予測されていた  
最終処分場が大幅に延命



# 現状と課題

- ◆ リサイクルにも環境負荷が発生

→ ごみそのものを減らす

「リデュース(発生抑制)の取組みの強化」

- ◆ 神明台処分地の埋立終了(～2011年3月)
- ◆ その後の処分地は1か所のみ(南本牧廃棄物最終処分場)

→ 「南本牧廃棄物最終処分場の延命化」

「焼却灰の有効利用の推進」



# 現状と課題

- ◆ 少子高齢社会の進展など社会構造の変化

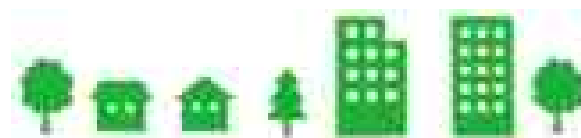
➡ 「多様化する市民ニーズへの対応」

- ◆ 廃棄物分野でも脱温暖化の取組の一翼を担う必要

➡ 「温室効果ガス排出量の削減」

- ◆ 厳しい財政状況

➡ 「ごみ処理における、より効果的・効率的な  
仕組みや体制の確立」



G30のその先へ

スリム

## 3. ヨコハマ3R夢プラン

横浜市一般廃棄物処理基本計画  
【平成22年度(2010) - 平成37年度(2025)】



「ヨコハマ3R夢!」マスコット  
ミーオ

# G30からヨコハマ3R夢プランへ

## G30プラン (2003年1月)

これまでのG30では、「分別・リサイクル」による「ごみ減量」を目指してきました。



## ヨコハマ3R夢プラン (2011年1月)

3R夢プランでは、「分別・リサイクル」はもちろんのこと

- 1 ごみとなるものの自体を減らす「リデュース」(発生抑制)
- 2 ごみ減量による「CO<sub>2</sub>削減」
- 3 ごみ処理の安心と安全・安定を追求を目指します。





# スリム 3R夢とは

「3R夢」 3Rによって更なるごみ減量と脱温暖化に取り組み、豊かな環境を後世に引き継ぐことで、子どもたちが将来に「夢」を持つことができるまち・横浜の実現を目指します。

「3R」 3R(スリーアール行動の実践)

Reduce(リデュース:発生抑制・・・ごみそのものを減らす)

Reuse(リユース:再使用・・・何回も繰り返し使う)

Recycle(リサイクル:再生利用・・・分別して再び資源として利用する)

# ヨコハマ3R夢プランの目標

計画期間：平成22(2010)年度～平成37(2025)年度

## ◆もっとチャレンジ・ザ・3R

ごみと資源の総量を

平成25(2013)年度までに **3%以上削減** (平成21(2009)年度比)

平成37(2025)年度までに **10%以上削減** (平成21(2009)年度比)

## ◆ごみ減量から始めよう脱温暖化

ごみ処理に伴い排出される温室効果ガスを

平成25(2013)年度までに **10%以上削減** (平成21(2009)年度比)

平成37(2025)年度までに **50%以上削減** (平成21(2009)年度比)

## ◆ごみ処理の安心と安全・安定を追求

# ヨコハマ3R夢プランの取組



「ヨコハマ3R夢！」広報大使  
(横浜F・マリノス)



「ヨコハマ3R夢！」広報大使  
(歌手:hitomi)



日産スタジアムでの啓発



3R夢プラン テーマソング発表会

# ヨコハマ3R夢プランの取組

スーパー店頭による啓発(生ごみ減量化を中心とした啓発)



店頭広場



土壌混合法の実演



水切りの実演



# ヨコハマ3R夢プランの取組



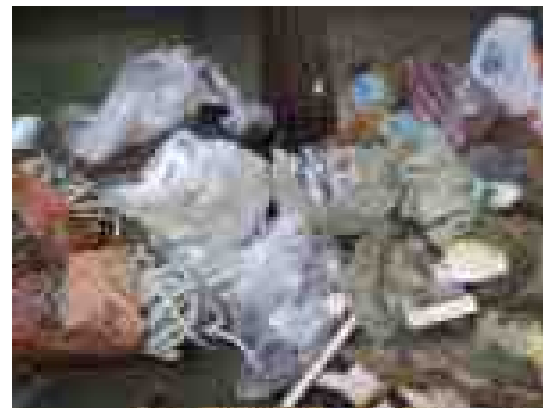
横浜開港祭での啓発



啓発車両(3R夢CAR)を使った啓発



防災訓練でのトイレパックの説明



事業系不適合搬入物 持ち帰り指導

# 今後の廃棄物行政にかかる課題

- ・製品プラスチックの資源化の推進  
(プラスチックはすべて資源化へ)

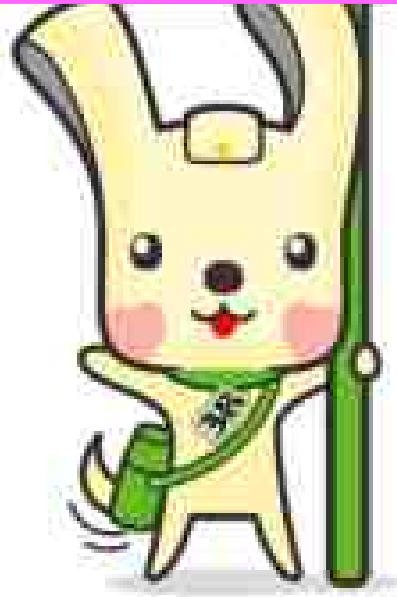


プラスチック製容器包装



プラスチック製品

更なるごみの減量・リサイクルに挑戦し、  
豊かな環境を後世に引き継ぎます



END